

発生件数で見る

危険な運転操作①

急発進動作

急発進の回数(1時間当り)

今回	3.8 回	集計平均	4.6 回
前回	2.9 回		
前々回	3.3 回		

※集計平均は、弊社で収集蓄積している全国のフォークリフト稼働データを集計し、その平均値を算出したものです

■ 事象説明

急発進は、作業を急いでたり、乱暴な運転をしていると起きやすい現象です。スピードを出しやすい広い現場でも見受けられますが、作業者が混在する狭い現場でも見受けられ、非常に危険です。

■ 想定されるリスク

突然の急激な動作は、物損はもちろん人身事故につながる大きな要因の1つです。前後進時の進行方向確認が無ければ重大な事故につながりますので、注意しなくてはならない現象です。

■ 発生の傾向

集計平均と比べ発生件数は少ないようです。しかし前回よりも増加傾向にありますので、まだまだ『注意すべき状態』である可能性があります。日々の安全活動の再点検と、もう一歩進んだ活動をおすすめします。

■ 対策のご提案

日々の教育指導にマンネリ化が進んでないでしょうか。定期的な安全講習などで、作業者の安全意識をリフレッシュすることも現場の改善になるかと思われます。解析レポート内の危険運転動画を見せて、どこが良くなかったのか、このままだとどんな事故が起きそうかを討議してみることをおすすめします。

< 対策例 >

【人的対策】

- ・基本運転操作の教育
- ・発進時の指差し呼称の徹底
- ・発進時にホーンを鳴らす
- ・構内制限速度の設定と徹底

【環境・ハード対策】

- ・車両の制動設定変更
- ・車両のスピード警告装置
- ・構内走行速度標識の設置